

Group-1

# 「寺子屋食堂」

様々な世代が自由に集える  
食事・勉強・遊び・コミュニケーションなどの場を提供



- ・寺子屋食堂にだれでも自由に集まり、食事・勉強・遊び・コミュニケーションを通して様々な世代と交流することで、地域のつながりの活性化をめざす
- ・参加者とボランティアの境がなくなるのをめざす
- ・次のサイクル（次代のボランティアを育成）をめざす
- ・放課後から19時まで過ごせる場所をめざす

## 現状の問題・課題

- ①頼れる人が身近にいない
- ②地域とのつながりが減り、様々な世代との交流ができていない
- ③こども食堂は貧困家庭が利用するという誤ったイメージがある

## 参考事例・備考

食材調達→大型スーパー、農家、寺の協力  
 資金→商工会議所の支援  
 社会福祉協議会や市への提言  
 場所→展示場、商店街、コミュニティセンター、  
 寺や廃校など  
 情報→小・中・高・大に情報を提供  
 （ボランティアで参加要請）

## 各主体の役割・取組

### 市民

- ・サポーター登録を募る
- ・農家の協力
- ・大学生やシルバー世代の協力
- ・職場体験を通して  
中・高・大学生を育てる

### 企業

- ・資材、食材の提供
- ・大型スーパーの協力
- ・地域企業の集合体

- ・交流館の活用
- ・社会福祉協議会の協力
- ・ニューボラ推進課に  
補助金依頼
- ・地域企業の集合体

## 子育て支援団体